

平成 20 年 6 月 26 日

取組方針

アサヒ装設株式会社は、「安心、安全、安穩」をキーワードとして、フライヤー・オープン等の食品加工機械を製造販売しております。

当社が製造販売する機械には、電気・LPG・食用油・水(蒸気)等を大量に使用する機器であり、これらの機械の開発に関しても地球環境との調和を図りながら開発しております。この活動を全社員がより明確に理解できると同時に事業活動に伴う環境への不可を少なくするために、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源
- ② 事業活動における廃棄物の削減
- ③ グリーン製品の利用とリサイクルの徹底
- ④ 5S（整理・整頓・製造・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組み方針と取組み目標および具体的な取組み内容を全社員に周知します。

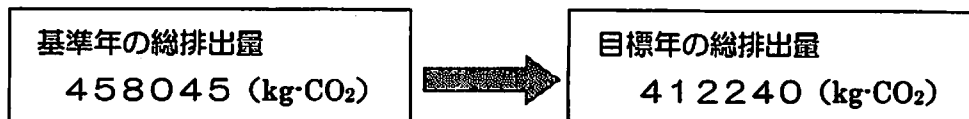
平成 20 年 6 月 26 日

アサヒ装設株式会社
代表取締役社長 山本 洋志

3 環境負荷の低減目標

56期に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも54期です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を10%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を10%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を10%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎日、全社員による5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員による改善提案で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

「環境活動委員会 組織図」

委員長 社長

担当者 資材購買部 山本

メンバ 経営企画部 中島、営業部 石間、技術部 竹内／中川／山川

AS部 澤山、第1製造部 岩崎、第2製造部 深沢、第3製造部 橋爪／谷保